



市政研究会 水谷 進 議員

- 1 神戸中学校跡地利用について
- 2 学校運営の改善について
 - (1)新しい公共型の学校モデルについて
- 3 歴史と観光について
 - (1)「神戸城」などの歴史活用について

質問1(1) 跡地の利用計画は、地域住民としっかり意見交換をして進めなければいけないと考えるが。

答弁1(1) 地域の皆さんの意見を十分に伺うと共に、市の考えも丁寧に説明していきたい。

質問1(2) 意見を取り入れた計画変更はあるのか。

答弁1(2) 地域の皆さんにとって最も重要な跡地利用は何なのか、意見を聴き計画案を精査していきたい。

質問2(1) 地域と一体となった持続可能な学校支援体制へ一層発展させるため「コミュニティスクール」制度を全校で実施をするべきと考えるが。

答弁2(1) 保護者、地域住民が主体的に参画し、地域の教育課題を地域ぐるみで解決していこうとする次世代の学校づくりを目指している「新しい公共」型学校創造事業の趣旨を十分生かし、全ての学校で積極的な取組みを展開したいと考えている。

質問3(1) 「神戸城」や「伊勢街道神戸宿」等の歴史を活用した町の賑わいや観光の振興について。

答弁3(1) 鈴鹿市観光振興基本計画の考えに基づき、「歴史と文化の町神戸」をPRし、より多くの方に神戸を訪れて頂くために、今後とも歴史的資源を活用した観光振興を図っていききたいと考えている。



緑風会 藪田啓介 議員

- 1 人権教育について
 - (1)地域との活動はどうか
 - (2)今後の取り組みと課題について
- 2 障がい者支援について
 - (1)現状と専門職員の配置について
 - (2)就業支援について

質問1(1) 人権教育センターで行われた「ぬくたいフェア」を評価するが、どんな理念で取り組んでいるか。

答弁1(1) 鈴鹿市人権教育基本方針のもと地域の団体や関係機関による実行委員会により開催されており、「障がい者の社会参加・ノーマライゼーションの理念の実現」に向け今後とも支援していきたい。

質問1(2) 今後の取り組みと課題は。

答弁1(2) 鈴鹿の未来を担う子供たちが、周りの子どもと共に学び合い、育ち合える機会と自立を育むインクルーシブな教育環境をめざす。

質問2(1) 障がい者のライフステージにあった支援のための専門職員の配置の現状はどうか。

答弁2(1) 生活介護・自立訓練事業以外は義務付けられていないが療育センターに言語聴覚士を常勤嘱託1名、理学療法士及び心理士を非常勤週1回、障害者総合相談センター「あい」に社会福祉士・精神保健福祉士を配属し対応している。

質問2(2) 障がい者の就業支援はどうか。

答弁2(2) 障害者雇用率は1.38%で県内ワーストであり、能力向上のための訓練などの福祉サービスや障がい者雇用促進啓発を進めていく。



公明党 池上 茂樹 議員

- 1 空地・空家の適正管理について
- 2 健康づくりについて
- 3 旧稲生公民館の跡地利用について

質問1(1) 空地・空家に雑草や樹木が生い茂り、近隣住民に迷惑をかけている土地の所有者に対し、どのような指導をしているのか。

答弁1(1) 平成22年度で227件に指導文書と現況写真を同封して土地の所有者に郵送している。

質問1(2) 近隣住民に迷惑を与えている所有者に対して責務を課す条例を制定する考えはないのか。

答弁1(2) 他市の条例の効果を検証していきたい。

質問2(1) 妊婦健康診査の公費負担の継続と同時に「ヒトT細胞白血病ウイルス1型」の検査の実施は。

答弁2(1) 妊婦健康診査の公費負担は来年度も実施する。「ヒトT細胞白血病ウイルス1型」の検査は平成23年1月から実施する。

質問2(2) 「乳がん・子宮がん」検診の申込は、官製はがきのみだが、利便性を考えた方法にできないか。

答弁2(2) 各地区市民センターで申込めるようにする。

質問2(3) 子宮頸がんワクチン接種の重要性と正しい認識を、児童生徒や保護者に周知すべきと思うが。

答弁2(3) がん発生の仕組みや定期健診の必要性、ワクチンの効果等について、保護者の理解を深めていくことは重要で、保健福祉部と連携をはかる。

質問3 現状と稲生消防分団車庫の駐車場確保は。

答弁3 隣接土地所有者との現地立会・測量作業を実施中。分団車庫の駐車場は必要と認識している。